

術前化学療法、乳房切除術後に、 術後化学療法を受けた Fさんとお子さん (学童期 二人)

これが現実なのだし、自分の子を信じよう、この子は強い、精神面では強いよって。我が子を信じようって、旦那も。

看護師 お子さんに、乳がんと伝えようと決めたきっかけは何でしたか？

Fさん まず、自分ががんって言われて、私は、自分は死ぬかもしれないって思ったんです。それで、全部子どもに話して分かってもらおうと思っ。こういう病気だから。でもママは頑張っ。治療するよって。でも話を話して、結局抗がん剤も初めに抗がん剤するって言われたから、髪の毛抜けるっていうのもあったかな外見的に。だから、そうなる、多分子どもも、「何で抜けるの？」って思っ、「何でカツラなの？」って思っ、だったら、こそこそ隠しながらって、隠しきれないと思っ。だから、全部話したほうが楽な。自分の中で、子どもに伝えて病気のことを分かってもらいたっていうのがあって伝えました。

看護師 お子さんのどんなことを心配しま

したか？

Fさん まず、伝えてすぐ子どもが不安になってしまふんじゃないかっていうのはあった。でも強くなっ。もらいたっていうのがあったかな。子どもに逆に。それと、今まで普通に買い物に行くことができたけれど、治療にあたって白血球下がってる時期は感染する時期だからダメとかあったし。だから、子どもに、「一緒に買い物行きたい」って言われても、「ごめんね、ママ行けないよ。がまんして。でも、半年過ぎたら、またママと一緒にけるからね」って。いうのは、そこで我慢してもらう分はあった。そういう理由で伝えたのかな。あとは、子どもが、うがいや手洗いをあんまりしないんだけど、やっぱり、ママに伝っちゃうからって言う結構やってくれたりした。って。いうのかな。

看護師 お子さんにも、協力してもらわなければならなかったんですね。

Fさん そう。だから、子どもに私と二人っきりの時間を作ってあげて、今まで我慢させた分、少しコミュニケーション取るうかなって。いうのもある。でも、このあいだ、

スポ小（スポーツ少年）のサッカーでお泊りがあって、ほんとは、親も引率だったんだけど、ほら、私ここ（手術した胸）がないから片方だからね、泊まりたくなかったし。長男を置いて行けなかったからっていうのもあって、次男だけ行かせた。でも、次男に、「ごめんね。ママ行けないよ」って言ったら、「ママ、大丈夫だよ。俺行けるから」って感じで、子どもながらに分かってくれているんだっていうのがあって。なんかね、良かったっていうか。心配はしているんだろうね。

看護師 お子さんに伝えるかどうかで、看護師に相談をしたことがありますか？

Fさん 私は入院（術前化学療法）する前に子どもに全部話したの。話して来た。話してきて、入院して、抗がん剤治療したから。看護師さんとの関わりで、話すきっかけっていうのになったのは、初めに（子どもに）話して来たからいけないけど、別な面では、自分が不安で不安で仕方ないっていう時はあった。そのことでは、看護師さんにすごく勇気付けられた。子どもに話すことでは、私は先に話してきちゃったからないかな。

看護師 お子さんに伝えるか伝えないというのを、夫婦で話し合うことはありましたか？

Fさん 私はなかった。夫婦で話しするより、私、もう自分で決めたら、すぐ実行する人なので、悩みも何もなくて話したんだよ。だから、子どもに伝えるかどうかは自分で決めて、夫婦で話しはしなかったね。相談することなく自分の中で決めて。もう、がんで抗がん剤治療するって、髪抜けるってなって。はじめは泣いて騒いだ。あと何年も生きられないって、なんだかんだ騒いだんだけど。治療も行きたくないって騒い



だ。だけど、やらなきゃならなくて。この子たちの為に生きないとなーっていうのもあって。子どもに私の病気のことを面と向かって話しする時は、旦那が居ない時でした。話したら、子どもも泣いて、すごく泣いて。でも、泣いて、一時間くらいしてケローとしていた。あとで帰ってきた旦那に、「今日話した」って言ったら、「んだか。どうだった？」って。泣かれたけど、あとこれは子どもの中で解決っていうかね。していかなきゃいけないことだし。これが現実なんだし。でも、あと、自分の子信じようって。この子強い、精神面では強いよって。我が子を信じようって、旦那も。

私が抗がん剤治療で具合悪くなって起きられなかったりした時、「学校行きたくない」とか（言われました）。私が治療に行く前の日は、私の実家にお泊りなんです。治療してくると私は動けなかったし、一週間くらいは。私の実家に子どもと世話になって、また良くなったら家に戻るといいうサイクルしていたから。子どもがやっぱちょっと不安定になっちゃって。「学校行きたくない」って言う時は、たぶん、私がまた一晩居な

くなるからだな〜っと思って、「じゃあ、休んでいいよ」って言って、休ませたら毎回それは続けられたけど。この子たちなりに、ほんとすごい情緒不安定っていうのもあったのかなと思って休ませたけど、一学年上になって全然それもなくな。まー、化学療法を日帰りや一泊で泊まった時も、前の日泊まるっていうのもなかったから、子どもが学校休みみたいって言うこともないし。

抗がん剤で辛かった時、子どもに「死んじゃう、ママ死んだら困る」「俺、学校やめて、ご飯作る」って言われた。

看護師 お子さんに病気を伝えた時に、お子さんの中で、何が一番不安だったと思いますか？

Fさん 死ぬ、死んじゃう。お母さん死んじゃう。カツラがどうこうとか、おっぱいがないとかそういうのはあんまり目に見えないものだからかえって、私が、「このつるつる頭、格好いいから、このまま学校行こうかな〜」って言うと、「えー、やめてー、

かつらはかぶってねー」と言うのはあったけど。カツラを見ても別に普通っていう。病気だからしょうがないよっていう感じ。うちの子だからだけど、一番やっぱり不安だったのは、「ママ死んだら困る」って一番言われた。「俺、学校やめて、ご飯作る」って言われた。「パパに仕事してもらわないと、ご飯食べられないから。だから、俺が学校やめて、ご飯作るから、ママ料理を教えてください」って言われた。でその時に、私

鬱気味っていうじゃないけど、やっぱり波があったんだよね。病気持ちさ、抗がん剤で辛かったから。だから、私その時死ぬかもしれない、死ぬかもしれないって思っていたのを、たぶん感じたのかな子どもが多分そういう風に言って、そこで私は逆に、「はっ」と気づかされて、「私は死なない。大丈夫だから、学校行っているよ」っていうふうに言った。私は子どものその一言で前向きになれた面があったかな。そんなさー、子どもが学校やめて、ご飯作るって掃除洗濯するとかって、あー子どもながらに、いろいろ考えていたんだな〜って。

看護師 Fさんの気持ちの揺れと、お子さ

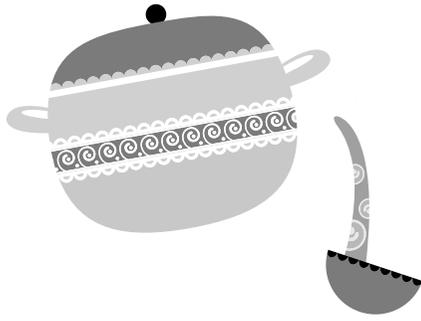
んの揺れは一緒でしたか？

Fさん 揺れはね、どうだろう。私が揺れていた時、子どもも揺れてたかな。うん。そうかも。今思えば私が揺れている時に、やっぱり子どもも感づいているね。

看護師 自分が死ぬかもしれないと不安な時に、お子さんの言動もそうだった感じですか？

Fさん そうそう。子どももその時は学校行きたくなくて、私のそばに居たいって思うみたいっていうのがあったね。でも手術して元気になって、もう抗がん剤もないからね。なくなって元気になって、帰って手術した姿をどうしようと思ったんだけど。で





も、はじめから手術する前に、「もうママ片方全部取っちゃうんだ」って、「取っちゃうんだけど、その分悪いもの取るんだから、元気でいられるんだから、なくなっても別にいいじゃん」って言った。子どもも、「取っちゃうんだ、ふ〜ん」ってだけだったのね。で、実際手術して、帰ってお風呂入る時、どうしようかな？ って思った。それで、(子どもに)「大丈夫？」って聞いたたら、「大丈夫」って。「でも、いいよ。パパと入っても」って言っても、「いいよ。ママと入る」って言われて。で、入ったら、やっぱり、

「えっ！」って、びっくりした顔は、一瞬しかたけど。そのあと、二、三日一緒に入らなかつたかな。子どもが(一緒に)入らなくて、旦那が、「何でママと入らないのや？」って聞いたらしい。私は気にしなかつたんだけど、そしたら、「ママ、手術したばかりで、疲れているから、ゆっくり一人で入らせたほうがいいかな」と思ってた、俺はそうした」って。ふとした時から、三日目くらいからかな？ 一緒にずっと、今入っていて、全然何も、もう大丈夫って感じかな。私のママ友も取っちゃったんですよ。私より前に。ママ友は、「退院してしばらく電気消してお風呂に入っていた」と話していた。子どもにも見せていないと言っていて。いや、私無理だなくって。私が、暗い中でお風呂入るの、怖くて入れないし。子どもと入らないということはできないなって思ってた。うん。だから、全部私は言ったのかな。でも、子ども一回見てほんとに、私をゆっくり入らせたかったのか。ちょっとびっくりして入らなかつたと思うんだけど、でも、それもね、今は普通に入って、毎日入ってるから。びっくりし

たと思うよ。

看護師 治療が進んで、お子さんの、お母さん死んじゃうって受け止めた思いは、今はどうでしょうか？

Fさん 今は、でも……、頭のどっかには死んじゃうかもっていうのがあると思う。あの、いつか、いつか、いつか死んじゃう。「病気だから」って、だって、未だに言うもん。「ママの病気が治ればいいのに」って。でも、子どもには、「ママの病気は、治らない病気だよ」って言っているし。「治らないけど、すぐ死ぬっていう病気でもない、もしかしたら、今きちんと治療した分よくなって、ず〜と生きられるかもしれないし、そうでないかもしれないし。今は、今できる治療しかできないから。それを、今ママはしてるんだ」って言ったら、「そっか、分かった」って言っている。だから、たぶん頭の中にはあると思う。口にはしないけど。だって、私と同じこと、何回言っても、言うこと聞かない時って、「ママ死んじゃったらどうするの？」って、私もたまにポロッと言うの。そしたら、今は、「そんな時は、そんな時でやるから」って

言っている。前は、「そういうこと言わないで。俺だって、頑張っているだから」って言ってたんですよ。今、そこ変わったかも！今は、「俺そんな時は、そんなにやる」って、今はそう言われるようになった(笑)。そういうふうに変わったね。うんうん。そういう言い方に変わった！そうだね。そう言われれば、このあいだそうだった。私が弱虫だから、うちの子もそうで、これじゃだめだと思って、スポ小のサッカーに入れた。少し揉まれて、集団に揉まれて、揉まれて強くなったりするんじゃないかなーっと思って、入れたんですけど。そしたら、やっぱり言葉使いが悪くなった。やっぱりね(笑)しょうがないっか。男の子だからなっていうのがあったけど。今は体調良いからいいけど、付き添って子どもを車に乗せたりというのでもできるけど、いつかまた、体調悪くなった時、それが連れて行けなくなったらどうしようっていう、ちょっとね、不安もある。自分の中に。ないと願いたいけど。私もうちの子に、伝えたら、どうなるかなって思ったけど。でも、やっぱり、学校から先生に、「なんか、最近お子さん

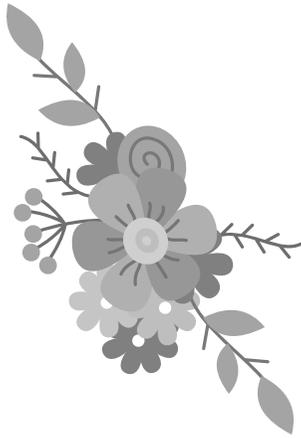
たち静かです」って、やっぱり言われたことがあって。その時は、私が子どもに病気のことを言った時期だった。子どもは親には見せないで、陰で悩んでいたんだなって。でも、これは子どもに隠せないことだと思っから。隠しきれないと思う。難しい。私不器用なのかもしれないけど。幼稚園児とかは、また別になってくるよね。幼稚園児とか、まだ理解できない時期でもある。ぼろっと幼稚園の先生に言っちゃう時期だよ。ね。お母さんのことペラペラ言われたら、私この人には言うけど、このお母さんには言わないっていうことがあったから。自分の病気。みんなに言ったわけじゃない。それは、誰でもあると思う。自分の髪の毛が抜けちゃうとかっていうのは嫌なことだから。知られたくないっていうこともあるし。でも、強いお母さんもいますよね。なんだろう、母親がこうして治療して悪い例を見せているんだから、子どもたちにちゃんと検診に行きなさいよって言ってるお母さんもあるね。子どもの友達とかに、「お前のお母さん、病気なんだ？」とか、「お前のお母さん、ちょっといつもと感じ違うんじゃないか？」とか、私もこの髪型で、学芸会



ないか？」とか、私もこの髪型で、学芸会行くの結構勇気いりましたからね。「なにしたいの？」みたいな、そこで、子どもたちが、「うん。やっと生えてきたの」とかって、言わなきゃいいなと思ったよ。ほんとに。うちはどうにか言わないでいてくれる。

看護師 学校には、伝えていたのですか？

Fさん 学校には言いました。私がこういった病気になったために、これから実家の方にもお世話になるから、今の家からの通学じゃなく、別なところからの通学にもなるし。私が治療に行っている間はスクールバスを使わないで、旦那と一緒に帰るって



う時もあった。やっぱり、それは学校に連絡しておかないと。今日はバスに乗るから、掃除しないで帰るとか、今日はバスに乗らないから、じゃー、どこに行くの？ ということになるし。ちゃんとまっすぐ帰んなさいよっていうのがあるじゃない。だから、前もって先生に、「先生、私こういう病気になって、こうなんです」って言ったら、「だから〇〇君たち、最近元気なかったんだね」って、そこで先生は(私の病気のこと)知ったんです。クラスメイトはね、参観日は、お母さん行かないから、それはそれで、「〇〇君のお母さん来てなくて、お父さん来てたよ」とかって噂はあったよ。

そんなねー、参観日に毎回毎回母親が行くっていう問題じゃないのにね。いや、その時は、「調子悪くって」って、「そっかそっか、大変だったね」とかっていう感じで過ごしてたけど(笑) 旦那にも協力してもらってね。白血球下がっている時期はね、インフルエンザが流行ってる時なんかは、よけいに行けないじゃない学校に。

私のがんという診断された時に旦那はすごくショックを受けていたんです。でも、旦那は大丈夫だっていうのを、ずっと私に言ってくれた。ドンと構えて、「大丈夫」って、言ってくれたのが一番の支えかな。

看護師 旦那さんから、どんなサポートをもらってましたか？

Fさん 私が動けない分、全部旦那が動いてくれて、学校行事をやってくれた。それとやっぱり私の心の支えかな。旦那もすごくショックを受けていたんですね。やっぱり、私のがんだっていう診断をもらった時

に。でも、旦那はすごい力っていうか、意志っていうのか、大丈夫だっていうのを、ずっと私に言ってくれたかな。だから、辛いから行きたくないって言っても、「お願いだから、これだけは、他のお願いはしないから、治療だけは行ってくれ、これだけは行ってくれ」って。それと、「治るから、大丈夫だから」って。私と一緒に頑張って、くよくよしているんじゃないかって、私はくよくよしているけど、旦那はドンと構えて、「大丈夫だ」って、こう言ってくれたのが一番支えだったかな。でも、その分(旦那は)去年遊べなかった分、今は自由にやっているから、それはそれで、私は頭にきてる(笑)。

看護師 お父さんとお子さんの関係で、変化はありましたか？

Fさん あっ二人でね、出かけること多くなったかな。前は、おじいちゃんおばあちゃんと同居していて、お願いして行けることもあったんですね。でも、今は家族四人なので私がいらないと、「じゃ、俺と行くか?」みたいな感じで。前は、旦那は、「ママと行け」って感じだったんだけど。

(私が乳がなくなったことは)家族で乗り越えるしかない。子どもの成長をずっと見ていたっていうのが私の願いかな。

看護師 お父さんとお子さんと、お母さんの病気を話すことはありますか？

Fさん 私の前では話したことない。けれど、私には聞けない、何かをパパには聞いている。聞いたかもしれない。あ！聞いていたんだよ、「ママ死ぬの？」って。やっぱり、子どもが聞いたんだ、「死ぬの？」って。旦那は、「死なないから、大丈夫」って言ったんだって。それは、(旦那から)聞いたことがある。その時私は、すごく「死ぬんだ、死ぬんだ、死ぬんだ」って言っていた時期。あったから、そういう時期。耐えられないと思った時期。自分が強い気持ち持っていないと、子どもってすぐ感じるからっていうのはあった。でも、自分も平常心でいられないんだよね。子どもの前

では、平常心でしようって思うんだけど、なんか、やっぱりさ、今まで普通に出来ていたことが出来ないってなると、落ち込む自分が結構あった。ほんとうに、この病気を治す薬を作ってくれて思うけど。家族で乗り越えるしかない。こればかりはね。子どももたぶんね。私が抗がん剤治療して、動けないじゃない体が。動きたくても、動けないし。食べたくても食べられないし。そういうのを見ていると分かるかもね。なんとなく。大変な病気だということを感じつくね。言わなくても。分かると思うよ。感じると思うよ。だって辛い。あの辛さは、やっぱり。離れて暮らさない限り、隠しきれない。逆に、子どもは強くなったかもね。いろんなことを経験して。そう思う。我が子を見て。かなり、成長しているんじゃないかなって。だから、旦那が言うもん、「落ち着いているよな」って言ってるから。私は、もう少しやんちゃさが欲しいなって思うのね。でも、旦那は、「多分これはちょっと

といろんなことがあって成長した分、多分やんちゃさが、逆に、バカバカしいって思っているのかもしれない。だから、落ち着いて、冷静な判断ができるんじゃないか」って。私は、もう少し子どもらしさがあった方がいいんじゃないかなって思う。こればかりはね。分かんないもんね。だってね、親がこうなってもらいたいってまさ、子どもがそうなりたいて思わなきゃさ。

看護師 どう育ってほしいですか？

Fさん とりあえず、思いやりがあって、元気に自分の意見をはっきりとね、人に伝わるように言ってほしいな。ちょっと、まだないような気がする(笑)。

看護師 楽しみですね、成長。

Fさん ねー。楽しみだけだね。それをずっと見ていたっていうのが私の願いかな。
看護師 貴重なお話を、ありがとうございます。

